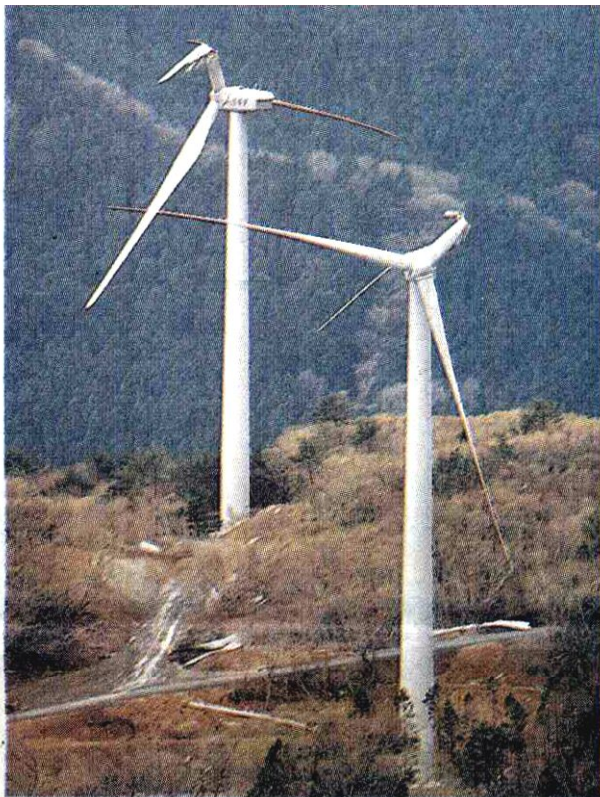


大破した風力発電施設 8日、静岡県東伊豆町、本社へりから、堀英治撮影



春の嵐、風車へし折る 東伊豆

発達中の低気圧が通過した影響で、関東の太平洋沿岸や伊豆諸島は8日、風速20メートルを超える風が吹き、海上は波の高さが6メートルを超える大しけとなった。神奈川県では横須賀、川崎市で宅地造成地などが崩壊が発生。横須賀市で4世帯15人に避難勧告が出たほか、川崎市の2世帯6人が自主避難した。静岡県では、東伊豆町にある風力発電施設2基の羽根（長さ37メートル、重さ6・5トン）がそれぞれ1本ずつ折れ、高さ約60メートルの柱からそれぞれ落下した。羽田空港の滑走路1本も一時冠水し、8日午後10時までには全日空と日本航空で計154便が欠航。JR東海道線も70本が運休するなどした。